

肝炎

知らないうちに
大切な人に感染させないために

肝臓病の7割は肝炎ウイルスが原因！

「お酒を飲まないのに肝臓が悪くなったのはどうしてでしょう」とよく聞かれますが、日本では**肝臓病の70%以上は肝炎ウイルス**によるものです。

現在、わが国での**B型肝炎ウイルスの持続感染者は150万人、C型肝炎ウイルスの持続感染者は200万人と推定されています**。慢性肝炎は**自覚症状が殆どなく、症状が出た時には既に肝硬変や肝がんになっていることがあります**。

基本的な注意を守れば、感染することはほとんどない

B型およびC型肝炎ウイルスは、主に**肝臓と血液中に存在します**。そのため、感染している人の血液が自分の体の中に入ると感染する危険性があります。しかし、**日常生活において基本的な注意事項を守っていれば、感染することはほとんどありません**。

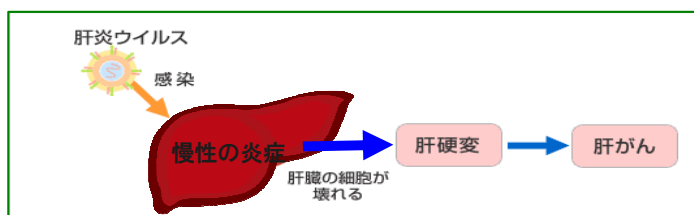
特に以下のことに心がけましょう。

- ・他人の歯ブラシやカミソリなどは使用しない。
 - ・感染した人の血液や分泌物がついたものは、他の人が触れないよう、しっかり包んで捨てる。
 - ・けが等の手当では、できる限り自分で行き必要があれば医療機関に受診する。
 - ・感染している人との性的接触には、コンドームを使用する。
 - ・B型肝炎ウイルスには有効なワクチンがあります。感染予防のために予防接種を受けましょう。
- なお、C型肝炎に対するワクチンは現在のところ、ありません。

肝炎は進行を抑える治療が可能。放置すれば肝がんになる。

肝炎検査(HBs抗原もしくはHCV抗体)で陽性でも、適切な治療により、「**肝がん発がんの予防**」が可能です。

しかし、放置し慢性肝炎が進行していくと、肝臓が線維化していき、肝硬変、ついには肝がんに移行していきます。

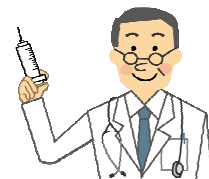


～B型肝炎ウイルス感染者の救済のための特別措置法が施行されました～

「特定B型肝炎ウイルス感染者給付金等の支給に関する特別措置法」が平成24年1月13日から施行され、裁判上の和解等が成立した方に対し、法に基づく給付金等が支給されます。

対象者は、7歳になるまでの間における集団予防接種等(昭和23年から昭和63年までの間に限る)の際の注射器の連続使用により、B型肝炎ウイルスに感染した方及びその方から母子感染した方(これらの方々の相続人を含む。)になります。対象者の認定については、裁判所による和解手続き等によって行います。

詳しくは厚生労働省にお問合わせ、または、ホームページをご覧ください。



こんな方は
受診を！

- 肝炎ウイルス検査を受けたことがない
- 体がだるく疲れやすい
- 食欲がない
- 輸血・血液製剤による治療経験者
- 肝炎ウイルス感染の有無がわからない
- 帝王切開などの手術経験者
- タトゥー(入れ墨)やボディピアスをしている